

(埼玉県委託事業)

令和元年度

患者のための薬局のかかりつけ機能強化推進事業

報告書

アンケート調査

～服薬期間を通じた支援の状況について～

令和2年3月

一般社団法人埼玉県薬剤師会

目 次

1. 背景

2. 目的

3. アンケート調査の実施

4. アンケート調査の結果

- ・服薬期間を通じた支援の現状についてアンケート結果（越谷）
- ・服薬期間を通じた支援の現状についてアンケート結果（川越）
- ・服薬期間を通じた支援の現状についてアンケート結果（鴻巣）
- ・服薬期間を通じた支援の現状についてアンケート結果（3回合計）

5. 考察

6. まとめ

※資料

- ・服薬期間を通じた支援の現状について

1. 背景

平成30年12月25日付け厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会「薬機法等制度改正に関するとりまとめ」にある「第3 薬剤師・薬局のあり方」(以下「薬剤師・薬局のあり方」という。)では、薬剤師には、調剤時のみならず、薬剤の服用期間を通じて、服薬状況の把握や薬学的知見に基づく指導を行うことが更に必要であるとされている。

今後の地域における薬局の機能強化や連携体制構築のためには、薬剤師・薬局のあり方を踏まえ、地域の現状や課題を把握するための調査が必要である。

そこで、患者に対する服薬期間を通じた支援の現状についてアンケート調査を実施し、県内の薬剤師・薬局の現状を把握することとした。

2. 目的

患者に対する服薬期間を通じた支援の現状についてアンケート調査を実施し、県内の薬剤師・薬局の現状を把握する。

3. アンケート調査の実施

アンケート調査の対象者は、県内3地区で実施した令和元年度埼玉県薬剤師認知症対応力向上研修会の受講者とした。研修会当日にアンケート用紙を配布し、研修会終了後に回収した。

(1) 第1回 令和元年9月23日(月)実施

場所：越谷サンシティ(東部地区)

回答者数：165人

(2) 第2回 令和元年10月20日(日)実施

場所：ウェスタ川越(西部地区)

回答者数：155人

(3) 第3回 令和元年10月27日(日)実施

場所：鴻巣市市民活動センター(北部地区)

回答者数：127人

※合計回答者数：447人

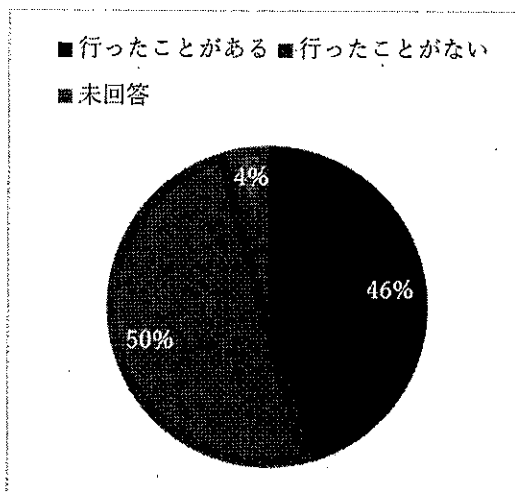
4. アンケート調査の結果

【「服薬期間を通じた支援の状況について」アンケート結果(越谷)】

令和元年9月23日 越谷サンシティ 開催分 (N=165)

Q1. 投薬後、必要に応じて来局日以外の服薬期間中に服薬状況の確認を行ったことがありますか？

行ったことがある	75
行ったことがない	83
未回答	7



服薬期間中に服薬状況の確認を行っていない理由

1	来局日に行っている。
2	時間の確保が難しい。
3	患者に訪問してもよいか問い合わせたところ断られたため。
4	対象となるような気になる患者様がいない。
5	主たる医療機関が整形のため受診間隔が短いため、来局時の確認がしやすいので。
6	管理薬剤師が担当してくれている。
7	問題があると考えた場合は医療機関に情報提供しております。
8	問題がなかったため
9	今のところ調剤をやっていない。
10	最低薬剤師人数で業務を行っていてなかなか手がまわらないです。
11	患者人数が多く、そこまでのフォローが難しい
12	事例がなかなかなかったり、そこまでつっこんでいくことがなかったと思う。
13	きっかけがないので
14	門前薬局のため病院ドクターの方針で薬局は深入りしないでほしいという傾向
15	そこまでの関係性が築けていないため
16	気がかりな案件なし
17	踏み込んだ関係がまだ構築できていない。
18	来局日に確認しているので
19	必要な方は在宅訪問している。
20	ブラウンバックなどで残薬を持ってきていただき、残薬調整などはするが、実際に来局日以外に服薬状況の確認はしたことがない。
21	必要性を感じる患者様がいないから

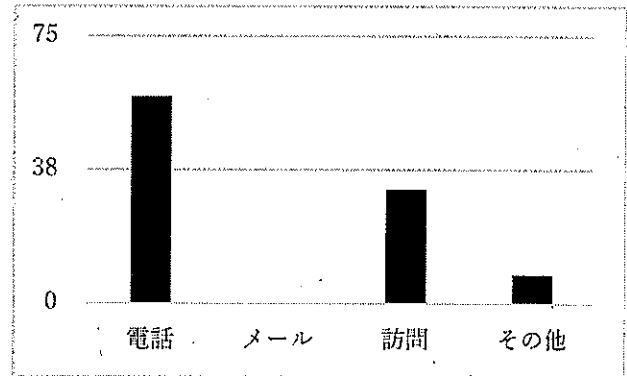
Q2.服薬状況について確認しようと思った理由は何ですか？

1	コンブが不良だったので
2	本人の話す内容と、服薬日数が合わないため
3	正しく服用できているか心配になり。
4	带状疱疹だったため、経過予後の確認をしました。
5	服薬指導時に残薬が多かったため
6	残薬確認を含め、在宅での過ごされている様子を伺う。
7	服薬が難しい薬だったので
8	大量の残薬を持参されたため
9	日付が合わないとき々連絡があるため
10	副作用の確認
11	きちんとその期間服用しないと効果がない薬のため、服薬の様子、副作用がなかったかを確認
12	コンプライアンスに不安があったり、副作用が起こりやすい状況が心配であった場合
13	副作用の心配
14	副作用が気になったため
15	パーキンソン病で OnOff の確認。認知も進んできたため薬をしっかりと服用できているか。
16	来局期間が開いてしまっていたので
17	居宅を算定している方で、受診前に服薬状況や残薬の確認を行うため。
18	60代であったが認知症かと思い
19	時間通り、服用回数、一回服用量を誤らないように確認した。
20	服薬状況に不安があったので。
21	吸入がうまく出来ているか。服薬後、副作用が出ていないか、副作用の可能性が予想されるため。
22	コンプライアンス、有効性の確認
23	長期投与(90日)の処方箋に対して
24	しっかり吸入ができていないか、残薬を確認に行った。
25	副作用が気になったので連絡しました。インスリンの手技など困っていないかなども。
26	過服の可能性があったため。
27	独居、認知症
28	途中で数が合わなくなったという申し出
29	服薬と認知が心配だったので、しっかり飲めているか、あと何個残っているか途中で聞いてみた。痛みの波があったので、減薬で痛みの悪化がないか。
30	高齢で独居。病識がなく、薬の服薬状況から認知の程度を知ろうと思いました。
31	麻薬→副作用確認。きちんと服用できているかチェック。お薬のセットを行う。
32	独居の患者さんで服薬困難さを感じたため。
33	残薬が多いため
34	①来局が途絶えているのでチェックした。②ハイリスク薬の担当を行った患者の服用状況を知りたかった。
35	家族の方の協力が期待できない事をケアマネから相談されたのをきっかけとした。
36	処方日数と受診間隔が一致していない。42日処方だが受診は不定期で2か月以上開くこともある。
37	ope の予定が入り、薬剤の脱一包化が必要と感じた為

38	○服薬指導の際に理解が不十分と感じたため。注射の手技に不安を感じたため。 ○残薬がたくさんあると伺ったため。 ○分からなくなったと頻回に来局されるため。
39	正しく飲めているか。多く飲んではいないかを。
40	高齢独居や認知症疑い、OTCを頻回に購入する方、近所の方から心配の相談等
41	前回残薬が多かった。新規薬追加等があった。
42	正しく飲めているか疑問があった。多くの薬が処方された際に飲み方を理解しているか不安があった。
43	残薬
44	残薬、服薬管理確認と改善案提供のため
45	独居で服薬に不安が残ったため、また、残薬状況等も確認したいと思ったため
46	薬の相談の電話が数回あり不安があったので。
47	残薬をたびたび持参する。足りないという電話が来る。
48	お薬カレンダーへのセットができていないかの確認
49	コンプライアンス不良が明確だった。
50	はじめて処方された吸入薬で高齢者には操作がわかりにくそうだと感じたため、後日、確認の為自宅を訪問した。
51	投薬時の話から服薬できていないことが考えられたため。
52	服薬がきちんとできているか。
53	お薬が足りなくなっていないか伺って確認しました。
54	服薬に不安
55	○同行された CM さんから「本人はきちんと飲んでいて話しているが、実は残薬が山ほどある」との申し出を受けた。 ○本人より、毎回残薬ありとの申し出がある。
56	認知症の服薬開始して飲み忘れがないか、副作用、特に消化器症状など出ていないか確認した。
57	残薬がたくさんある。
58	連休中に薬が不足すると思われた。
59	薬剤による副作用の支持薬を適切に服薬できているかの確認
60	内服薬を誤って服用していたため(在宅患者)
61	脳梗塞発症後、高次脳機能障害も出現した患者だった為
62	薬局日に Dr へ薬の調整が必要であればすぐ対応できるようにするため(独居の方の一包化)
63	アドヒアランスに不安があったから
64	電話で薬の紛失相談があり、残薬を確認したかったから。
65	処方日数を超えて来局がなかったため
66	投薬時説明が分かったのかどうか不安があったため確認
67	毎回のように残薬調整を依頼された。
68	来局されていないので、どうされたか心配になり確認しました。
69	会話が噛み合わず Comp が心配だったため
70	麻薬もあったので、確実に服用してもらうため

Q3.どのような方法で確認していますか？(複数可)

電話 (する/もらう)	58
メール	0
訪問	32
その他	8



Q4. どのような患者を対象に行なっていますか？(複数可)

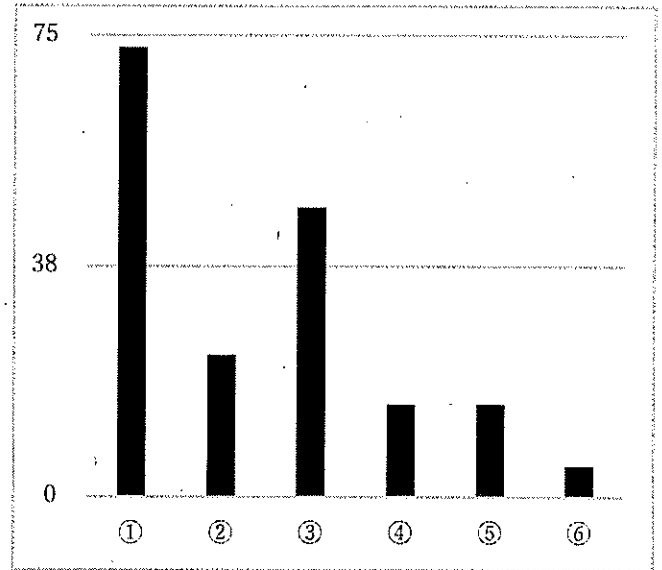
		確認頻度			
		毎日	週2~3回	週1回	その他
急性疾患	11	1	3	2	4
慢性疾患	49	1	2	11	17
その他	20	2	0	4	8

(具体的疾患)

急性疾患	帯状疱疹、不穏の方、急性胃腸炎、インフルエンザ、かぜ、がん→オピオイド、脳梗塞後高次脳機能障害
慢性疾患	アルツハイマー、レビー小体認知症、脳血管、認知症、不整脈、多発性血管炎、膀胱炎、高血圧症、頻尿等、糖尿病、パーキンソン病、ペースメーカー装置、高血圧、高コレステロール、便秘・不眠等、脳梗塞、慢性関節リウマチ、透析、腫瘍、高齢
その他	がん、ピロリ菌除去、認知症、疾患に関係なく必要と思う場合、抗がん剤・麻薬、パーキンソン病

Q5. 確認事項(複数可)

①服薬状況	73
②医薬品の有効性	23
③副作用	47
④要指導医薬品・一般用医薬品の使用状況	15
⑤健康食品(サプリメント)の使用状況	15
⑥その他	5



Q6.服薬状況を確認した結果、どのような効果がありましたか？

1	飲めていないことが分かった。
2	コンプライアンス向上、アドヒアランス向上
3	残薬と服用時の変更
4	認知症の方の服用がダブらなくなった。
5	患者からも連絡が来るようになった。
6	信頼関係がよくなり、症状や家庭環境の変化など、よくお話をしてくれ、服薬意識が高まった。
7	服薬も休薬期間もしっかりと守れた。
8	残薬が減った。残薬の状況を Dr.が把握できるようになった。→処方内容に反映された。
9	副作用を早期に見えた。
10	きちんと服用のことを聞き安心しました。又、副作用も起きていないことを確認。患者さんも安心した様子でした。
11	受診日を忘れた患者さんに受診日を思い出してもらえた。
12	状況把握でき、次回の指導がスムーズに行えた。
13	一包化してみた。
14	病気の症状が良くなり、患者に感謝された。
15	毎月の服薬状況の確認により、飲み忘れがなくなりました。
16	服薬ができるようになった。
17	以前より正しく服薬できるようになったと思う。
18	副作用症状を起こさず、継続服用できている状況が確認できた。
19	忘れずに吸入をしてくれた。
20	確認する以前よりも検査値などを持参され相談されるようになった。一部薬剤が減った。
21	お薬の紛失を確認できた。過服用はなかったことを確認できた。
22	カレンダーを利用するようになった。
23	特に緊急なことは今までなかった。
24	お薬が服用できるようになった。
25	残薬を調整できた。
26	コンプライアンスの向上、残薬調整による医療費の削減。
27	受診、薬局をうながせた。服用間違いが判明した。
28	少なくとも在宅での服薬、週2回、薬局をうながすことが確実に服薬できる。
29	朝食後服用のみの処方(一包化)ですが、起床が昼頃になったときには、朝食を取らないので、服薬していないことが判明しました。
30	ノンコンプライアンスだが BS Control OK のため処方薬剤の整理ができた。
31	残薬がたくさん出てきたため、残薬整理を行うことができた。注射の手技が困難と判断し、主治医へフィードバックした →注射から内服に切りかえ。
32	正しく飲めるようになった。信頼度が高まったようで相談されることなど増えた。
33	重複・過量投与防止、コンプライアンス向上等

34	次回調整
35	副作用の疑いがあったため、病院へ報告し、休薬指示となったが、その仲介ができた。
36	コンプラ良好
37	コンプライアンス向上
38	コンプライアンス向上へと繋げることができた
39	アドヒアランスの改善、信頼関係の構築
40	家族の方(配偶者)の協力が得られるようになった。
41	残薬がたくさんあることが分かったが、訪問は嫌がるため、詳細までの改善は難しい。
42	患者さんには安心してお薬を使っていたことができた。
43	服用できていなかったため、一包化し、地域包括ケアかと連絡した。
44	分からない。
45	お薬の保管管理がうまくできていなかった。
46	食前薬の中止、服薬回数を減らしたことにより、飲み忘れの量が大幅に減った。
47	服薬に対して理解できていない。アズノールうがい指の力が弱く訪問にて具体的指導。オキシコドンを服用していた患者様→下痢の症状を訴えて中止
48	コンプライアンス向上の為、ODP にしたらきちんと服用できるようになった。
49	病院に問い合わせをし、処方してもらいお届けした。
50	薬局-病院間においてスムーズな情報共有につながった。(患者来院時に副作用発現の程度を速やかに把握できた。病院薬剤部より連絡あり。)
51	誤飲と服薬状況の改善
52	きちんと服用できていました。
53	薬が多く残ることがなくなる
54	残薬があることが分かった。
55	紛失していなかった(残薬が家にあった)→在宅を推奨し同意を得た。
56	用法通りに服用できていなかったため、Dr に用法剤形の検討をお願いしました。→変更があった患者、用法の徹底を指示された患者などがありました。
57	服用方法など再確認など。
58	1週分ずつセットして渡すことになった。少しずつ遅れることもあるが、以前より服用していただけるようになった。
59	問題なく服用できており、患者も自分自身も安心した。
60	コンプライアンス向上が見られた。

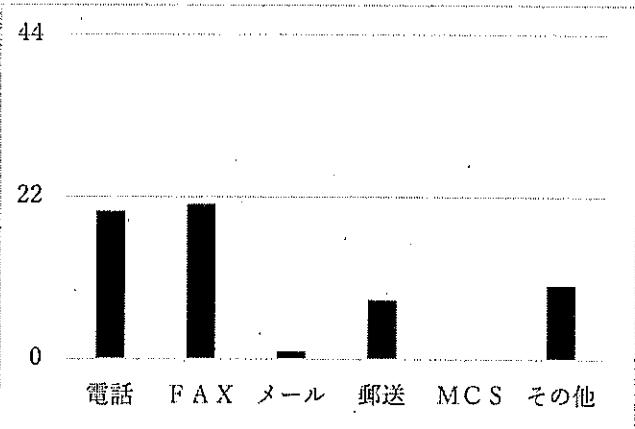
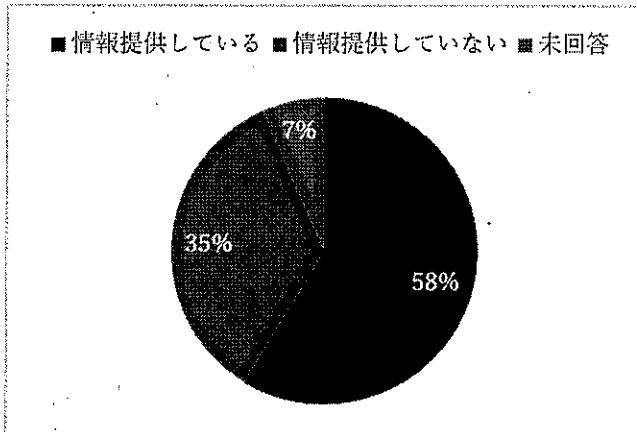
Q7. 服薬状況を確認した際、医療機関への情報提供はしていますか？

(1)処方医

情報提供している	44
情報提供していない	26
未回答	5

情報提供の方法 (複数回答あり)

電話	20
F A X	21
メール	1
郵送	8
M C S	0
その他	10

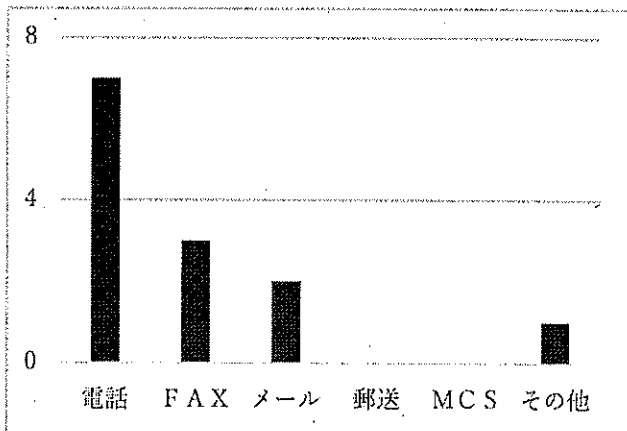
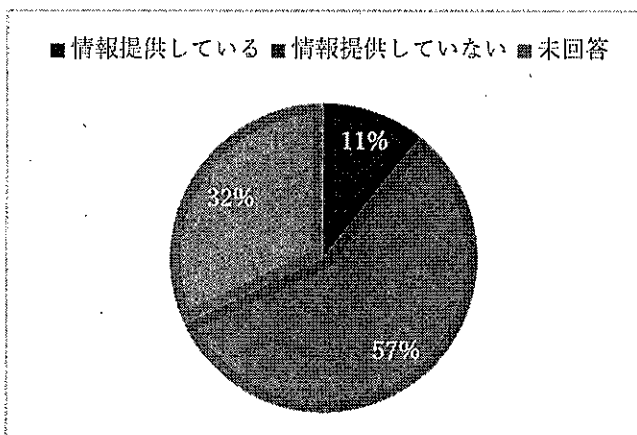


(2)薬剤部

情報提供している	8
情報提供していない	43
未回答	24

情報提供の方法 (複数回答あり)

電話	7
F A X	3
メール	2
郵送	0
M C S	0
その他	1

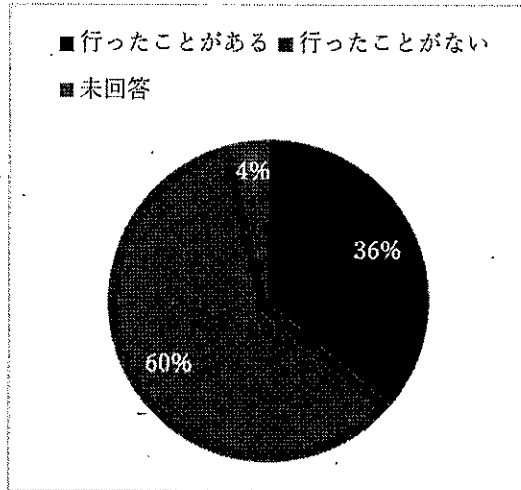


【「服薬期間を通じた支援の状況について」アンケート結果(川越)】

令和元年10月20日 ウェスタ川越 開催分 (N=155)

Q1. 投薬後、必要に応じて来局日以外の服薬期間中に服薬状況の確認を行ったことがありますか？

行ったことがある	56
行ったことがない	93
未回答	6



服薬期間中に服薬状況の確認を行っていない理由

1	今まで必要と感じた場合がなかった。
2	これまで必要性を感じていなかった。
3	外来の患者さんが多く来られるため、個人の方の絞って服薬状況の確認を行うには時間的余裕がないので。
4	小児科門前の為機会が少ない。
5	小児科門前の為機会が少ない。
6	日常業務に追われてできていない。
7	次回来局時の際に確認を行っているため。
8	1人薬剤師でなかなか時間がとれない。
9	最近は電話に出られない方が多い
10	日常業務が忙しくて、そこまでできていない。
11	必要と感じることがなかったから
12	日常業務で時間がとれない。
13	多忙
14	麻薬処方 Kr に確認を行おうと思っていたが、拒否されました。
15	患者さんが自宅に入るのを嫌がったため
16	機会がない。時間がとれない。
17	機会がなかった。
18	業務上時間がなく、困難なため
19	風邪での来局のため
20	家族が管理していることが多く、確認するまでに至らない。
21	人手不足
22	確認するのにためらいがあったため。

23	店舗での投薬を主に行っているため
24	他の業務が忙しすぎて、なかなかできません。
25	ケアマネと連絡を取り、既に認知症疑いで取り組んでいたことを確認

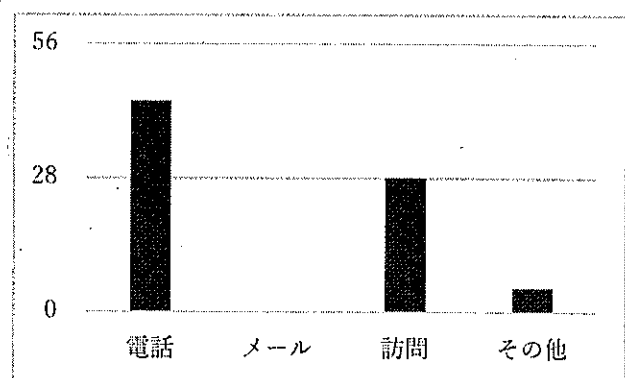
Q2.服薬状況について確認しようと思った理由は何ですか？

1	薬が余っているとのこと
2	服用できているか確認する為。認知症があり、デノタスが飲めたか不安だった。
3	薬の服用することを忘れやすいから
4	コンプライアンスに不安
5	初めてビスホスホネート系(週1回)の薬を飲むので、しっかり飲めるか不安が合ったので、初回のみ確認した。
6	コンプライアンス、SEの確認
7	投薬時に理解力に不安があった。患者自身も不安を持っていた。
8	腎機能低下などあり、副作用の確認が必要だと感じた。アドヒアランス低下で一包化など調剤法を変更して混乱が生じていないか確認が必要だと感じた。
9	他の人が既に行っていたのを見た。
10	いつも薬がないとおっしゃる患者様だった。→その後に在宅開始
11	投薬時の患者の反応が悪く、不安だったから。
12	残薬ないと思われるのに受診がなかった。
13	認知症がある方だった。投薬時に理解が不十分と感じた。不安げな様子だった。
14	受診して処方箋を受ける時期が予定より早かったため
15	気になったから
16	電話問い合わせがあったため
17	残薬があるはずなのに、頻回に処方と来局があったため
18	認知症で飲めていないことが予想された。
19	独居もしくは老夫婦での生活だったため。服薬ができているかどうかの確認。
20	薬を正確に服用しているか確認のため
21	服用 CP に不安があったため
22	副作用が出ていないか心配だったので
23	来局頻度と処方日数が合わなかったため。眠剤の過量服用が疑われ SE 出ていたため。
24	飲み忘れがあったため。
25	服薬時に理解が出来ていない。服薬時に不安ありそう。
26	本当に服薬が出来ているのか。家に行ってみて初めて現実を知るきっかけとなった事例があったから。(服薬ができていなかった。)
27	Dr.と話をする中で「気になるよね」と話題に上がったため。少しお風呂に入っていないような感じがあったため。
28	来局予定に来ていなかったため
29	残薬がありそうなので。
30	認知症の患者様(独居)が薬がなくなると頻りに来局されたため。なくなった薬を見つけた。

31	きちんと服薬できていないと思ったから
32	新しく増えた薬剤の効果・副作用の確認。服用状況、使用状況の確認
33	来局日に受診していなかったから。
34	来局予定日に来なかったため。薬を飲みきっている可能性があるため。
35	飲みすぎているかどうか。
36	処方追加やデイサービスに行くときに服用する薬の準備
37	きちんと服薬できているかどうか心配だったから。服用により不具合が起きなかったか心配だったから。
38	コンプライアンスが悪い為
39	コンプライアンスが明らかに低下したため
40	○新しく血圧の薬を出した時。(一人暮らし、高齢者) ○一人暮らしで、ひどい風邪をひいたとき
41	薬が正しく服用されているか。
42	服薬状況が心配だったので
43	他職種との SNS により必要性を把握したため。
44	高齢のため、日常の服薬に不安があったため。一包化して日付を記入しても飲んでいるか確認するため。
45	来局がまばらで定期的でなかったため。
46	SE の確認、症状の確認のため。
47	インシデントではなく、家のあると思ったから。
48	残薬があり、服用状況に不安があったため
49	ビスフォスフォネートを毎日服用から週1回の服用となり、不安が合ったため。ターミナルの方に疼痛コントロールが 来ているかどうか。
50	麻薬鎮痛剤の服用が初めてで投薬時に不安な様子だった為
51	○服薬コンプライアンスが悪く、受診来局間隔がいつも長い。 ○毎回、余っている薬があり、薬局で調整(疑義照会)している。 ○症状・検査データの改善が見られない。
52	来局間隔が開いていた為
53	コンプライアンス不良、薬がない

Q3.どのような方法で確認していますか？(複数可)

電話 (する/もらう)	44
メール	0
訪問	28
その他	5



Q4. どのような患者を対象に行っていますか？(複数可)

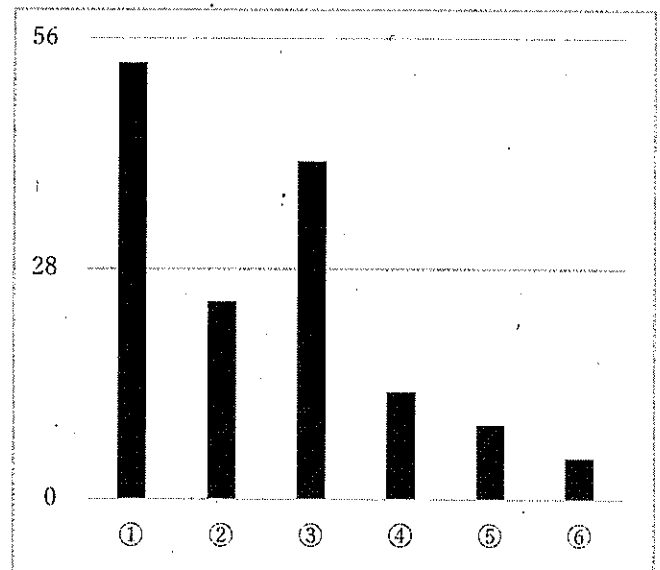
		確認頻度			
		毎日	週2~3回	週1回	その他
急性疾患	15	0	0	5	7
慢性疾患	35	1	3	11	15
その他	11	1	0	3	6

(具体的疾患)

急性疾患	心疾患(急性高血圧)、ピロリ菌除菌、小児の風邪(乳幼児で薬の服用が難しい)、風邪、吐き気の強い人、ターミナル
慢性疾患	認知症、独居、高齢、糖尿病、高血圧、腰痛、不眠症、脳梗塞(後遺症)、パーキンソン病、心疾患、癌末期、軽度認知症(他疾患あり)
その他	骨粗鬆症、認知症、腎機能低下、精神科疾患、高血圧、高齢、がん性疼痛

Q5. 確認事項(複数可)

①服薬状況	53
②医薬品の有効性	24
③副作用	41
④要指導医薬品・一般用医薬品の使用状況	13
⑤健康食品(サプリメント)の使用状況	9
⑥その他	5



Q6.服薬状況を確認した結果、どのような効果がありましたか？

1	多量の薬(残薬)があった。
2	間違った服用の仕方が改善された。
3	薬のコンプライアンスが向上した。
4	コンプライアンス向上、処方内容の変更
5	コンプライアンス向上につながったと思う。
6	信頼を得られた。服用時点の変更提案でコンプライアンス改善があった。
7	次回来局時まで問題なく服用していただけた。
8	副作用が出ていないことが確認できた。服薬中に帯状疱疹など他院へ受診した内容が把握できた。
9	飲んでくれる日が増えた。
10	アドヒアランス向上→攻撃性がなくなりました。
11	服薬コンプライアンス向上、生活状況の確認ができた。
12	アドヒアランスが低い方への一包化(日付入など)で飲み忘れがなくなった。
13	安心して飲みきってもらえた。きちんと服薬継続できている。
14	相互の安心感向上
15	信頼関係ができた。
16	剤形変更によりコンプライアンスが上がった。
17	家族管理へ切り替え
18	服薬のコンプライアンス向上
19	ある程度服用できるようになった。
20	飲み忘れがあったので、飲むよう御主人にお願いして、薬の管理を御主人にしてもらった。
21	CP、受診日以外での体調を Dr に報告し、対応できるようになった。
22	本人も腎機能低下の大切さが分かった様子
23	ヘルパーさんの介入と訪問薬剤管理指導の実施につながり、SE なくなった。
24	飲み忘れ時の対応、飲み忘れ防止
25	コンプライアンス維持
26	夜間の眠剤の服用量が減り、日中の活動能力が向上した。
27	服薬状況がよくなった。
28	コンプライアンス向上
29	残薬が減った。
30	薬が減った。(多剤併用がなくなった)
31	必要に応じて薬の作用や副作用について再度説明し、安心していただくことができた。
32	調子が悪く受診できず、薬の残りがあつたため、次週に受診すると確認出来た。
33	1週間分割お届け
34	きちんと服薬できるようになった。
35	患者も投薬した薬剤師も安心した。

36	コンプライアンスがよかった。
37	コンプライアンスの改善、家族の理解が得られた。
38	患者が安心した。
39	アドヒアランスが上がった。
40	SNS で全職種が情報の共有ができるようになり対応がしやすくなった。但し、医師がとてもマメな方なので成功している感がある。
41	TEL で確認されるため薬をしっかり飲もうと思うようになったとのこと。独居が多いので、TEL がうれしいと。
42	臨時薬の場合は薬の効果がはっきり見られた。
43	お互いの理解と安心、早急な対策へつながった。
44	他の介護支援サービスの提供でき、独居でも過ごすことができている。
45	飲み忘れる理由等が分かった。食事を取らない時、外出時にも飲むようになる。
46	疼痛コントロールの為に薬剤の変更、服用方法の確認、コンプライアンス不良の方の改善
47	服薬を工夫していただくことで、むせずに安心して飲めるようになるなど。
48	処方変更(処方薬、服用方法等)。介護・支援の充実。
49	残薬服用後、未受診が続いた。
50	家族から感謝あり

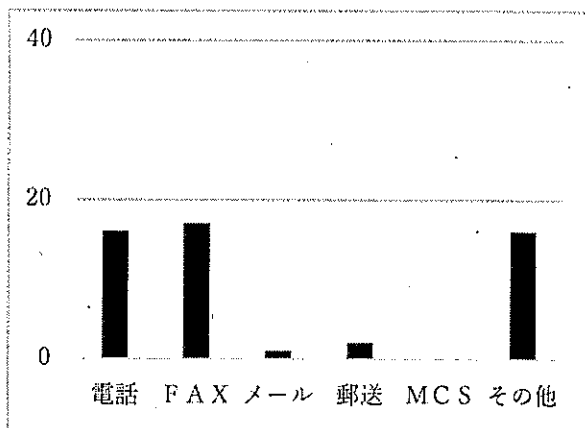
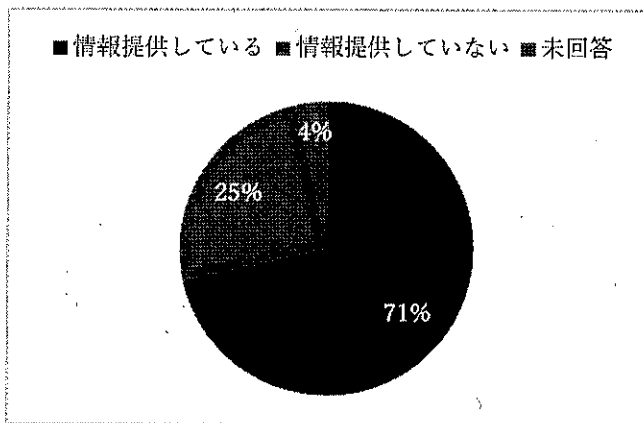
Q7. 服薬状況を確認した際、医療機関への情報提供はしていますか？

(1)処方医

情報提供している	40
情報提供していない	14
未回答	2

情報提供の方法 (複数回答あり)

電話	16
FAX	17
メール	1
郵送	2
MCS	0
その他	16

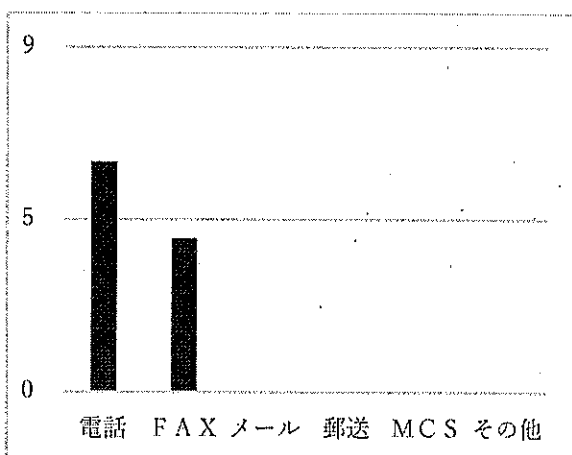
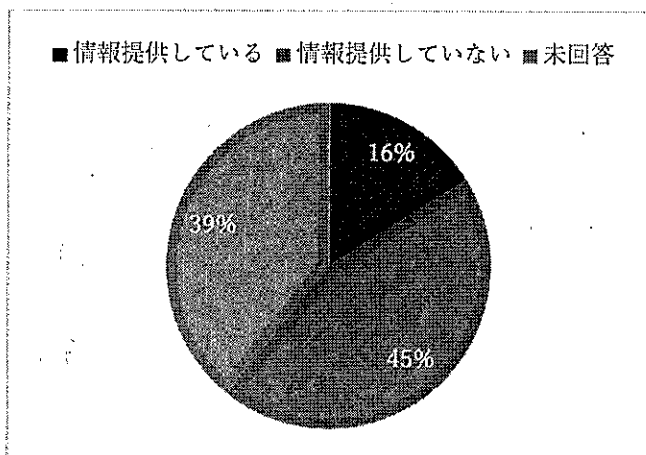


(2)薬剤部

情報提供している	9
情報提供していない	25
未回答	22

情報提供の方法 (複数回答あり)

電話	6
FAX	4
メール	0
郵送	0
MCS	0
その他	0

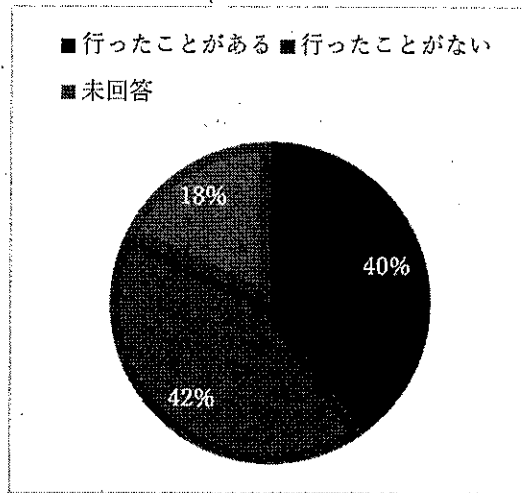


【「服薬期間を通じた支援の状況について」アンケート結果(鴻巣)】

令和元年10月27日 鴻巣市民活動センター 開催分 (N=127)

Q1. 投薬後、必要に応じて来局日以外の服薬期間中に服薬状況の確認を行ったことがありますか？

行ったことがある	51
行ったことがない	53
未回答	23



服薬期間中に服薬状況の確認を行っていない理由

1	病院勤務の為、アンケートの主旨から外れてしまうと思います。
2	次回来局日まで待ち、確認する。
3	時間の制約があり、そこまで手が廻らない。
4	次回の来局時に確認するよりも早く確認する必要性がなかった。
5	処方日数が短い処方者がほとんどなので、確認をしていませんでした。
6	急に TEL して迷惑とってしまうため
7	必要そうな方を見つけていない。(自分は患者サイドとして TEL されるのが嫌)
8	日々の業務に追われてできない。
9	対応する患者さんを担当していない
10	来局日のみの服薬確認で充分だから。時間と人手が足りないのです。
11	かかりつけ以外では把握しにくい。かかりつけ患者では概ね来局時調査で対応できているため
12	機会がなかった
13	行う必要がないと思っていたため
14	病院薬剤師でなかなか退院後まで追えていないため
15	小児の急性疾患が多く、服薬状況の確認を行う前にすぐ受診されているため
16	来局時がズレている患者様に残薬のことを聞くと、災害時のため多く備蓄している人が多い。あまり重要視していなかったため。

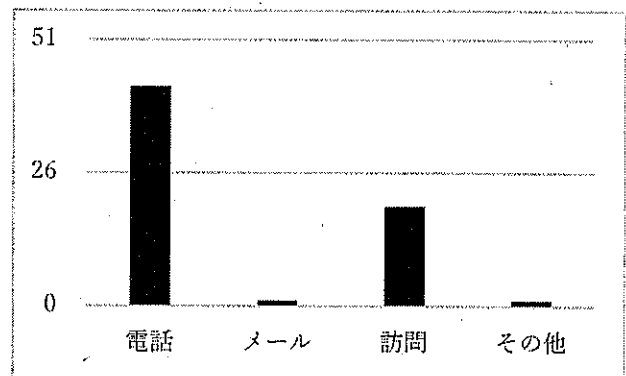
Q2.服薬状況について確認しようと思った理由は何ですか？

1	SE、吸入
2	服薬が十分できるか不安な方だった。
3	残薬が多かったため
4	総合的判断による
5	認知機能に不安があったため
6	話を聞いていて なにか自宅に薬が残っているように思えたから
7	頻繁に受診、来局するため
8	予定日の薬局がなかったため。/SE 報告により回収のあった薬について
9	毎月きちんと来局されている方が、早め早めの通院が多くなった。
10	服薬を嫌がったため
11	薬袋に薬が入っていないと連絡をもらったため
12	かかりつけ薬剤師を担当して一包化の患者さん(日付入りです)通院が遅れていたため心配となり訪問
13	薬を代理人が取りに来たため。ご本人と話をしたかったため。
14	処方変更による体調変化(副作用・有効性)が気になったから
15	研究、認知機能低下
16	認知症がある可能性がある患者さんで定期的に受診できない患者さんに連絡している。
17	毎回残薬が有り、認識力がかなり低下していた事がわかってきたから。
18	在宅患者。予定受診日になっても受診せず。余薬ないはず？
19	副作用が心配だった。
20	来局時に不安を感じたため
21	副作用かもという症状を気にされている患者様のフォロー
22	残薬が多い
23	デイサービスより連絡があったため
24	長期投与だったため。高齢。
25	飲めているか、理解しているかどうか不安になったため。
26	麻薬のレスキューの服用頻度、副作用、効果について
27	家族などの話から飲み残しが多い、片寄った飲み方(朝のみ、夕は飲まないなど)があるとのことで
28	医師や関係者からの確認を頼まれた。あるはずの薬がないと患者からの訴えがあったので。
29	服薬状況に不安があったから服用方法が理解できているか不安があったから。
30	薬局予定日に受診されなかった。ブルーレターにより。
31	新しい薬が追加になったので服薬できているか SE が出ていないかの確認するため
32	受診が遅れているため
33	薬の変更があったため症状の改善と副作用確認するため
34	過量投与が心配となったため
35	患者ご家族から「薬を服用してくれない、受診してくれない」といった訴えが発生したため。(患者はアルツハイマー型

	認知症)
36	吸入手技に不安があったため
37	適切に服用できているか体調はどうか確認をしたかったため
38	患者本人からの電話で服用方法がわからなくなったとのことで。
39	吸入薬のデバイスがきちんとしようできているのか、副作用を心配している方へのフォロー
40	①薬疹疑いの TEL があり、その時点では副作用ではないと判断したが、念の為 30 分後ぐらいに TEL(薬疹ではなかったと確認したため継続服用を伝えた。 ②併用薬を確認取れなかった場合、自宅に戻ってから確認してもらったことがあった。
41	吸入デバイスの使用法が覚えられない。吸ったかどうか覚えてもらえないため。
42	本人の理解が不安だったため
43	①家族から患者本人の不穏状態の相談を受けたため。 ②ケアマネから Comp を良くするにはどうすればいいか、SE と思われる症状がでていいるがどうかなど相談を受けた。
44	コンプライアンスについての問題点
45	服用変更指示があったため
46	高額な抗がん剤服用の為
47	同効薬について前回のものが飲み終わってから服用するよう言い忘れたため。
48	認知症、居宅療養管理指導を行っている方で、残薬が多いことが発覚したため。
49	麻薬等、とても重要な薬が含まれている。

Q3.どのような方法で確認していますか？(複数可)

電話 (する/もらう)	42
メール	1
訪問	19
その他	1



Q4. どのような患者を対象に行っていますか？(複数可)

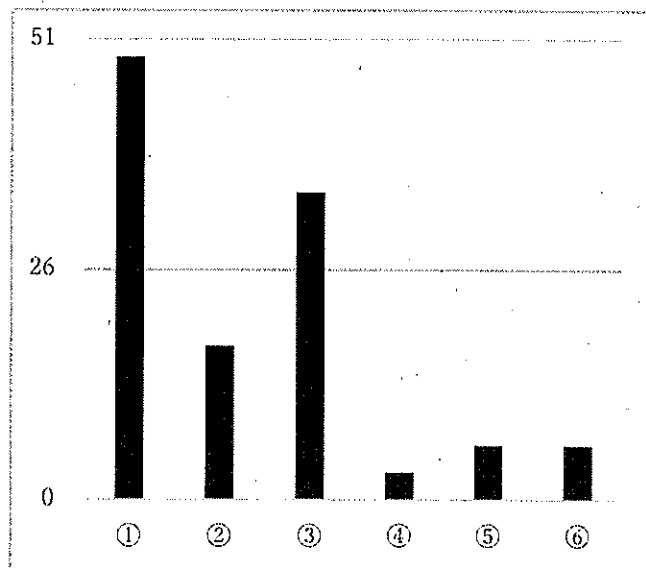
		確認頻度			
		毎日	週2~3回	週1回	その他
急性疾患	9	1	0	0	5
慢性疾患	39	1	2	2	28
その他	6	0	0	1	5

(具体的疾患)

急性疾患	インフルエンザ、風邪(感冒)、高熱、整形、带状疱疹、喘息
慢性疾患	認知症、高血圧、糖尿病、C型肝炎、脳梗塞、がん、COPD、パーキンソン病、足腰が悪い、胃炎
その他	不眠、抗がん剤治療、認知症

Q5. 確認事項(複数可)

①服薬状況	49
②医薬品の有効性	17
③副作用	34
④要指導医薬品・一般用医薬品の使用状況	3
⑤健康食品(サプリメント)の使用状況	6
⑥その他	6



Q6.服薬状況を確認した結果、どのような効果がありましたか？

1	メモリー増量による便秘→酸化 Mg 追加(便秘改善)
2	患者側が薬局を頼るようになってきた。
3	次回処方時に調整した。
4	症状の改善
5	在宅を訪問することの敷居が下がった。(自分自身の)
6	カレンダーに薬をセットして、飲み忘れが減った。
7	不安に思った時、相談に来局又は TEL してくれるようになった。
8	残薬の存在、アドヒアランス向上、SE の回避
9	飲みすぎ防止、用法、用量をきちんと守る。
10	服用薬に対する不安が解消した。
11	残薬調節、処方変更
12	訪問看護師との繋がりができました。
13	副作用の早期発見につながった。
14	Drに報告。コンプライアンス向上
15	まだ受診されていないので様子を見ています。
16	TEL、訪問した日は飲んでくれるようになった。
17	残薬も少しは必要だが、有りすぎると予約日を守らない。
18	副作用がないことがわかり、お互いに安心した。
19	すぐにコンプライアンス改善にはならなかったが、飲める方法を一緒に考えて決定した結果、少し改善した。
20	副作用ではなかったことが確認でき、服薬継続を確認できた。
21	訪問日に薬が全てなくなっても、指示通りに服用ができているとは限らないことが分かった。それによって、カレンダーを工夫するなど、次の一手が考えられる。
22	感謝され、関係性が良くなった。
23	ちゃんと理解し、飲めていたことを確認。
24	患者さんの健康状態を把握することができ、また患者さんが感じている不安、疑問を聞き出すことができた。
25	処方の変更等
26	お薬カレンダーの利用
27	コンプライアンスの向上、副作用の防止
28	副作用の確認、コンプライアンスの確認ができた。
29	SE の確認ができ、Dr に伝えられたことにより次回の診察に活かされ、処方も変更になった。投薬時にはわからなかった患者の考えが知れ、アドバイスできた。
30	受診されました。
31	しっかり使用したため、治療効果 Up
32	薬剤師と一緒に患者と付添で病院へ受診。残薬等状況をその場で病院へ伝達することで病院も状況が把握しやすく、薬のコンプライアンスが上昇した。飲み方をご家族へ提案。

33	安心して服用を継続できたとお言葉をいただくことができた。
34	服用方法を正しく守ってもらえるようになりました。
35	現在使用していない薬の整理
36	自己中止せずに服用継続できた。併用薬を確認し、安全に服用していただいた。
37	毎日吸入することができた。
38	残薬 Check 結果、SE 結果を処方医にトレーシングペーパーにて伝達→処方変更等につながった。
39	服用の有無、忘れがないか客観的に分かる。
40	次の調剤時、スムーズに薬を渡せた。
41	重複服用がなかった。
42	毎日電話で服薬確認した方では、その場で服薬していただくことができ、服薬状況が改善しました。
43	コンプライアンスが向上した。

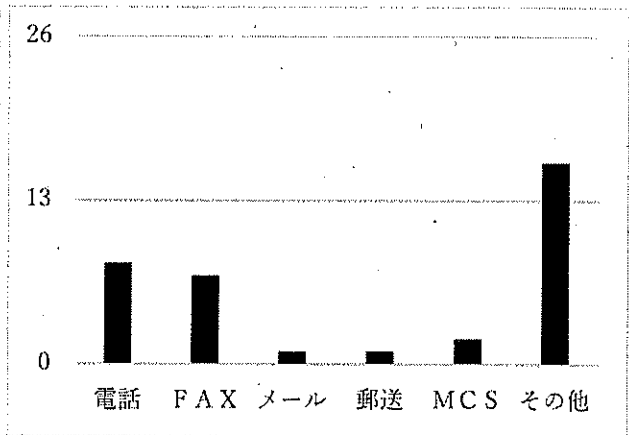
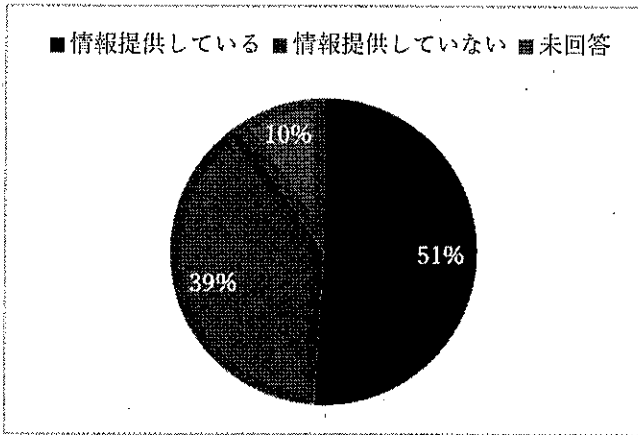
Q7. 服薬状況を確認した際、医療機関への情報提供はしていますか？

(1)処方医

情報提供している	26
情報提供していない	20
未回答	5

情報提供の方法 (複数回答あり)

電話	8
FAX	7
メール	1
郵送	1
MCS	2
その他	16

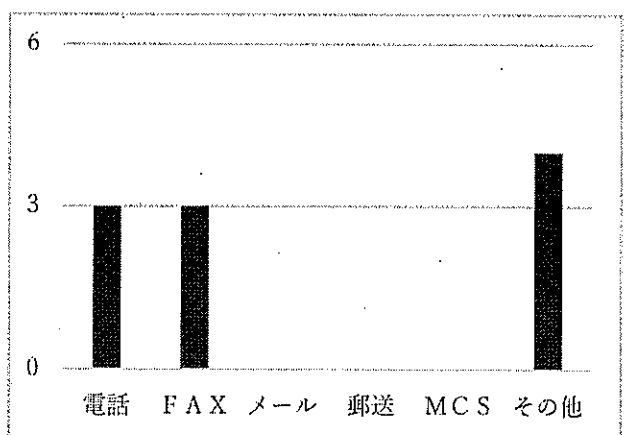
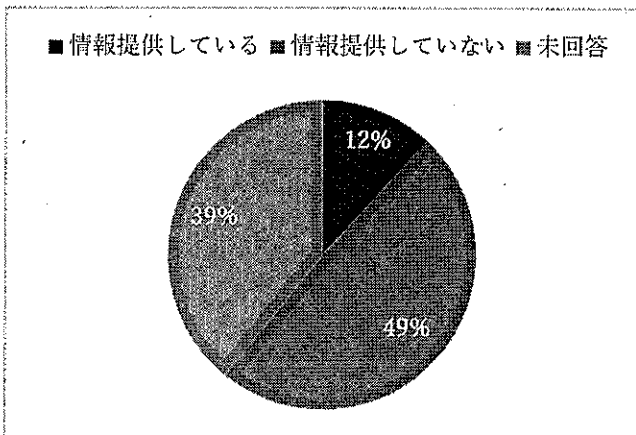


(2)薬剤部

情報提供している	6
情報提供していない	25
未回答	20

情報提供の方法 (複数回答あり)

電話	3
FAX	3
メール	0
郵送	0
MCS	0
その他	4



【「服薬期間を通じた支援の状況について」アンケート結果（3回合計）】

回答者数 447人

Q1. 投薬後、必要に応じて来局日以外の服薬期間中に服薬状況の確認を行ったことがありますか？

行ったことがある	182	40.7%
行ったことがない	229	51.2%
未回答	36	8.1%

(確認を行っていない理由) (別掲)

Q2. 服薬状況について確認しようと思った理由は何ですか？ (別掲)

Q3. どのような方法で確認していますか？ (複数可)

電話 (する/もらう)	144
メール	1
訪問	79
その他	14

Q4. どのような患者を対象に行っていますか？ (別掲)

Q5. 確認事項 (複数可)

服薬状況	175
医薬品の有効性	64
副作用	122
要指導医薬品・一般用医薬品の使用状況	31
健康食品 (サプリメント) の使用状況	30
その他	16

Q6. 服薬状況を確認した結果、どのような効果がありましたか？ (別掲)

Q7. 服薬状況を確認した際、医療機関への情報提供はしていますか？ (N=182)

(1) 処方医 (複数回答あり)

情報提供している	110	60.4%
情報提供していない	60	33.0%
未回答	12	6.6%

(情報提供の方法)

電話	44
F A X	45
メール	3
郵送	11
M C S	2
その他	42

(2) 薬剤部 (複数回答あり)

情報提供している	23	12.6%
情報提供していない	93	51.1%
未回答	66	36.3%

(情報提供の方法)

電話	16
F A X	10
メール	2
郵送	0
M C S	0
その他	5

5. 考察

「投薬後、必要に応じて来局日以外の服薬期間中に服薬状況の確認を行ったことがありますか？」の問いに、服薬状況の確認を「行ったことがある」と回答したのは、182人（40.7%）であった。

「服薬状況について確認しようと思った理由」についてフリーコメントで回答を求めたところ、「病状や疼痛管理の確認」、「副作用の確認」、「残薬の確認」などが挙げられたほか、「投薬時に患者が理解できているか不安だった」や「来局間隔が不自然だった」など服薬に不安があった場合に次の来局を待たずに患者や家族に連絡をとっている事例が多数見られた。

一方、「服薬状況の確認を行ったことがない理由」としては、「対象患者がいない」という回答のほか、「時間がない」、「人手不足」という回答が挙げられた。また、「きっかけがない」、「経験年数が浅い」など、個々の薬剤師の対応力の向上を図ることにより改善が期待できる回答も見受けられた。

「服薬状況を確認した結果、どのような効果がありましたか？」の問いについて、「アドヒアランスの改善が得られた」、「処方薬が減った」、「残薬が減った」、「信頼関係が築けた」などが挙げられた。薬剤師が係わることによって、アドヒアランスが向上し、より安全で安心できる患者本位の薬物治療につながるものがうかがえる結果となった。

「服薬状況を確認した際、医療機関への情報提供はしていますか？」の問いについて、「処方医へ情報提供している」は110人（60.4%）だったのに対して、「薬剤部へ情報提供している」は23人（12.6%）に留まった。薬剤師がいない医療機関も多数あるため、60.4%と12.6%を単純に比較することはできないが、薬業連携が十分とはいえない現状が明らかとなった。医療機関との情報連携、特に薬業連携は、かかりつけ薬剤師・薬局として必要な機能であり、来年度以降の課題である。

6. まとめ

令和元年12月に公布された「医薬品、医療機等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」では、「薬剤師が調剤時に限らず、必要に応じて患者の薬剤の使用状況の把握や服薬指導を行うこと」が義務化され、令和2年9月に施行が予定されている。このアンケート調査では、服薬状況の確認を「行ったことがある」という回答が4割程度と、想定よりも低い結果であった。また、時間的な問題、薬剤師の対応力、確認の方法、医療機関等への情報提供の方法等の問題点も明確になった。この現状を踏まえ、本会では、認知症対応力向上研修や保険薬局・保険薬剤師のための講習会等、多くの薬剤師が受講する研修会において、これらの問題点を解決

するための講義を取り入れ、全ての薬剤師が服薬期間を通じた患者支援ができるよう環境整備を進めたいと考えている。

○服薬期間を通じた支援の状況について

※平成 30 年 12 月 25 日付け厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会「薬機法等制度改革に関するとりまとめ」にある「第 3 薬剤師・薬局のあり方」を踏まえ、県内の薬剤師・薬局の現状を把握するためのアンケートです。

1. 投薬後、必要に応じて来局日以外の服薬期間中に服薬状況の確認を行ったことがありますか？

- 行ったことがある → 2. へ
- 行ったことがない → ここで終了です。

（行っていない理由）

2. 服薬状況について確認しようと思った理由は何ですか？

（ ）

3. どのような方法で確認していますか？（複数可）

- 電話（する/もらう）
- メール
- 訪問
- その他（ ）

4. どのような患者を対象に行っていますか？（複数可）

- 急性疾患（具体的疾病：_____）
 - ※確認頻度 毎日 週に2～3回 週に1回 その他（ ）
- 慢性疾患（具体的疾病：_____）
 - ※確認頻度 毎日 週に2～3回 週に1回 その他（ ）
- その他（具体的疾病：_____）
 - ※確認頻度 毎日 週に2～3回 週に1回 その他（ ）

5. 確認事項（該当する項目すべてにチェックをつけてください）

- 服薬状況
- 医薬品の有効性
- 副作用
- 要指導医薬品・一般用医薬品の使用状況
- 健康食品（サプリメント）の使用状況
- その他（ ）

6. 服薬状況を確認した結果、どのような効果がありましたか？

（ ）

7. 服薬状況を確認した際、医療機関への情報提供はしていますか？

- (1) 処方医 している していない
 - ↳方法 電話 FAX メール 郵送 MCS その他（ ）
- (2) 薬剤部 している していない
 - ↳方法 電話 FAX メール 郵送 MCS その他（ ）

※MCS (Medical Care STATION : 完全非公開型 医療介護専用 SNS)

ご協力ありがとうございました。記入漏れがないか、今一度ご確認ください。